

ふれあい

題字・川口遊魚さん

第22号

平成23.10.1

赤い羽根共同募金がはじまりました。



▲ 運動会の応援練習です ▶



今年新築された上田保育園整備工事費にも赤い羽根共同募金が配分されています。

ありがとうメッセージ

うねだ保育園のみんなが
あたたかくなって
うれしいです。
いーるであそんでまあ
どうもありがとう。



も く し

- 今年も赤い羽根共同募金にご協力をお願いします… ②～③
- 私たちもがんばりました (高校生の被災地支援) … ④
- 浜中学区社協・砂越 砂越緑町地区社協の活動 … ⑤
- われらボランティア…………… ⑥
- 平成22年度酒田市社会福祉協議会決算 …… ⑦
- お知らせ…………… ⑧

【発行】

社会福祉法人 酒田市社会福祉協議会

〒998-0864 酒田市新橋二丁目1番地の19
酒田市地域福祉センター内

☎23-5765 FAX24-6299

E-mail: shakyo@sakata-shakyo.or.jp

ホームページ: <http://www.sakata-shakyo.or.jp/>



酒田市社協

検索

八幡支部 ☎64-3765 ・ FAX61-1214

松山支部 ☎62-2843 ・ FAX62-2841

平田支部 ☎52-2260 ・ FAX52-3727



赤い羽根共同募金の配分により発行しています。

今年も赤い羽根共同募金にご協力をお願いします

今年も“じぶんの町を良くするしくみ”をテーマに、赤い羽根共同募金運動が、全国一斉にはじまりました。

地域の福祉をすすめるための募金です。今年も皆さまの温かいご支援・ご協力をお願いいたします。



●平成23年度の酒田市の目標額
14,926,000円

●期間 10月1日▶12月31日

質問 — なぜ募金の目標額があるの？

①共同募金は 計画 募金です

福祉施設や団体、ボランティアサークルなどが翌年度の計画を立てます。

計画書
子育てボランティア
養成講座
子育てサークル

②山形県共同募金会 申請 内容の審査

③募金目標額 決定

翌年度の計画を実現するために必要なお金を、前もって目標額と定め、募金をお願いするからです。そのため、今年度の募金は来年度に使われます。

募金の方法は

戸別募金 法人募金 街頭募金・募金箱設置 ほかにも…

自治会を通じて、各世帯にお願いします。

事業所、商店などの法人に寄付をお願いします。



学校・職場などでご協力をお願いします。

中央共同募金会のホームページでは、全国の市町村の共同募金の使いみちが、ご覧いただけます。

<http://www.akaihane.or.jp>

赤い羽根共同募金福祉車両整備

社会福祉法人などが経営する施設・団体及び社会福祉事業を活動目的とするNPO法人への車両整備配分事業があります。総事業費の4分の3の額で、限度額は150万円です。県内5台の枠で、対象基準により配分されますので、くわしくはお問合せください。

山形県共同募金会酒田市支会 電話23-5765

共同募金への寄付金は、税法上の優遇措置があります。

■法人の場合

法人税の算出の際、寄付額が全額損金扱いとなります。

■個人の場合

所得税、住民税の寄付金控除の対象となります。

赤い羽根災害ボランティア・NPO活動サポート募金

5人以上のグループで、次のような活動をしたとき、赤い羽根共同募金より助成される制度があります。

活動内容／炊出し、入浴サービス、訪問・相談活動、仮設住宅への引越の手伝い、障がいなど特別なニーズのある方への支援ほか

助成額／おおむね1か月未満の活動50万円以内・1か月以上の活動300万円以内

■くわしくは社会福祉法人中央共同募金会

企画広報部 ☎03-3581-3846

kikaku@c.akaihane.or.jp



今年度は次の事業に使われています(22年度の募金11,943,074円を活用)

- 上田保育園 移転新築工事費
- 酒田報恩会保育園 お地蔵さま祭り
- 新堀保育園 地域高齢者との交流(七夕)
- 浜中保育園 畑づくりで交流
- 十坂保育園 お茶のお運びお手伝い
- 北平田保育園 人形劇鑑賞
- 小鳩保育園 畑づくりで交流
- 宮野浦保育園 施設で高齢者との交流
- 泉保育園 親子運動会
- 西荒瀬保育園 畑づくりと人形劇
- 黒森保育園 入園前幼児と人形劇鑑賞
- 亀ヶ崎保育園 地域の高齢者と畑づくり
- 中平田保育園 おたより発行
- 木の美保育園 未就園の子どもとの交流
- 広野保育園 いも煮会で高齢者との交流
- 鳥海保育園 マイ夢の里夏まつり
- 北新橋保育園 親子運動会
- 月見ヶ丘保育園 地域交流事業(園運動会)
- 西荒瀬学童保育所 道具購入(カラーマット)
- 宮野浦学童保育所 プロジェクター、空気清浄機購入
- 酒田市あすなろ福祉会 カーテン購入
- 障がい者サポートセンターあらた 運動機器購入
- NPO法人みらいず 電気掃除機、MDラジカセ、血圧計購入
- すまいるらんど(A) 給湯器購入
- すまいるらんど(B) 冷蔵庫購入
- NPO法人支援センターなのはな畑 フライヤー購入
- ワークショップヤッホー いす購入
- 障がい福祉サービス事業所たぶの木 フライヤー購入
- NPO法人支援センターふれあい工房 出窓ブラインド設置
- 酒田市障がい者福祉会 酒田市スポーツ大会・文化祭
- NPO法人にこっと ひとり親家庭支援ホームフレンド事業
- NPO法人エオヒップス 高齢者乗馬体験プログラム
- 酒田市老人クラブ連合会 地区研修会
- 酒田飽海鍼灸マッサージ師会 高齢者のための治療ボランティア
- 酒田手をつなぐ育成会 第51回東北ブロック大会
- スワンの会 グループ活動

- 酒田市学童保育連合会 学童保育指導員学校参加
- 子どもまつり実行委員会 こどもまつり
- 母子福祉ねむの木会 入学・進学を祝う会
- 酒田市ボランティア連絡協議会 ボランティア研修事業
- 酒田市遺族会 酒田市戦没者遺族大会
- 酒田市自治会連合会 自治会長研修
- 酒田市民生委員児童委員協議会連合会 部会研修会、各単位民協研修会
- 酒田電気工事協同組合 1人暮らし高齢者住宅電気安全点検
- 要約筆記ばんけの会 指導者養成事業
- 青少年を伸ばそう市民会議 発足30周年記念事業
- 松原学区社会福祉協議会 地域福祉力向上のため関係団体と連携強化
- 八幡身体障害者更生会 親睦レクリエーション大会
- 八幡遺族会 戦没者慰霊祭
- 酒田市老人クラブ連合会八幡支部 高齢者レクリエーション、料理講習、作品作り他
- 酒田市八幡民生児童委員協議会 全員研修会、交流活動
- 八幡手をつなぐ育成会 地域交流会
- 酒田市八幡ボランティア連絡協議会 情報交換、世代間交流
- 松山手をつなぐ育成会 ふれあい教室他
- 酒田市松山民生委員・児童委員協議会 研修活動
- 松山身体障害者更生会 研修会、体育大会、友愛訪問、福祉講座
- 内郷地区社会福祉協議会 ふれあい広場(グランドゴルフ)
- 松嶺地区社会福祉協議会 ふれあい広場(演劇教室)
- 山寺地区社会福祉協議会 ふれあい広場(演劇教室)
- 南部地区社会福祉協議会 通学宿舎、ふれあい広場
- 酒田市遺族会松山支部 戦没者遺族の親睦
- 酒田市老人クラブ連合会平田支部 相互支援のつどい
- 平田身体障害者福祉協会 あいあいサロン、スポーツ教室
- 平田ボランティア連絡協議会 ボランティアまつり
- 酒田市平田民生児童委員協議会 ひとりぐらし高齢者との交流会
- 酒田市平田遺族会 北俣地区慰霊祭
- 八幡ごろにゃんくらぶ 親子の交流
- 酒田市社会福祉協議会 地域福祉事業



南部地区社会福祉協議会 通学宿舎



障がい者サポートセンターあらた運動機器購入



就労継続支援施設みらいず血圧計購入

▼8月20日石巻市の民家の壁こわし



高校生の被災地支援 私たちもがんばりました！

酒田市社会福祉協議会では、市民の皆さんのご協力をいただき、被災地支援のためのボランティアバスを月二回運行しています。これまで多くの高校生が参加され、感想を寄せてくれました。

酒田商業高校三年

西村 重紀

今回、ボランティアに参加した経験は忘れられません。元々、被災地のひどい光景は報道で見えて覚悟していたのですが、想像を上回っていて、大変辛く、悲しい気持ちになりました。それでも、復興に励む人々を見てみると、メディアからは伝わらなかった感動があり、今では参加できてよかったです。

酒田北高校三年

佐藤 葉月

被災地ボランティアに参加して、自然の怖さと人間の無力さを痛感しました。今までの考え

方が大きく変わり、以前よりも積極的になった自分がいます。

私は今後もボランティアを続けたいと考えています。お世話になった社協の方々のように、参加者の気持ちを大切にする運営スタッフになりたいと思います。

酒田工業高校三年

庄司 彩華

テレビと全く違って、家の崩壊の悲惨さや、作業場所では海で腐ったものの悪臭がひどかったりして、本当にびっくりしました。家族の方々はとても明るかったのですが、昔の写真が出てきた時に、「おねえちゃん」が津波に流されてしまつてね」と笑顔ながらもぼそつと言われたのが切なかつたです。これからもできることを積極的にやっ行ってこうと思いました。

遊佐高校二年

和嶋 旭

一回目に参加したときは、ニュースで見るよりもひどく、ただ呆然と見ていることしかできませんでした。家の壁壊しの

作業をすると何だか悲しくなり、壊していいのか迷ってしまいました。しかし二回目は、自分は微力だけでも役に立ちたいという思いで参加しました。またこのような機会があったら、ぜひ参加したいと思います。

酒田東高校二年

佐藤 絢子

津波の被害を受けたアパートを掃除し、住んでいた人々が生活して積み上げてきたものが一気に壊されたことを感じました。写真や結婚指輪など、大切な物がその人の手に渡り、復興の希望になるといいと思いました。そういうことが積み重なって日本が復興できる一歩につながると思うので、日々できることをやっていきたいと思いました。

酒田西高校一年

長谷部 愛衣

私は二回、被災地でのボランティアに参加しました。側溝や家の泥出し、がれきのかたづけ、傾聴等をして、一番心に残っているのが傾聴です。避難所の人

達と一緒に歌ったり話したりしたのですが、みんな笑顔で、ボランティアに来た私が逆に勇気づけられたような気がしました。ボランティアできる時間は限られていますが、協力しあいながら、これからも被災地復興に貢献していきたいと思っています。

酒田南高校一年

鈴木 快衣子

私は、六月二五日に石巻市に行ってきました。そこで感じたことは、思っていた以上に、被害が大きかったことです。隣の県なのにこんなにも違ってびっくりしました。大震災が起きてから時間が経ったのに、土砂やがれきがいっぱいあったので、早くきれいな町に戻ってほしいと思いました。

●支援バス運行回数 十三回
●延べ参加者数 三八〇名
(九月十七日現在)

今後も、月二回、第一・第三土曜日を予定しています。

詳しくはお問合せください。

電話二三一五七六五

学区・地区社会福祉協議会

ささえあうこころ

皆で支える

おらほの福祉

浜中学区社会福祉協議会

会長 佐藤 晴之

浜中は酒田市の最南端、庄内空港が位置する農村地帯です。

畑作農業を中心に春は「苺」夏は「メロン」秋は「花卉」そして冬は「大根」と年中忙しいところがあります。そんな中、自治会・民生委員・福祉協力員そして子供達を中心に助け合いを行っております。

季節の味をたのう

ふれあい給食は季節の料理と芋煮や鱈汁などを囲んで和気あいあいとひと時を過ごします。ひとり暮らしの方は「うめの」と言いながら喜んでくれます。また、ひとりだと中々外出の機会も少ないので、年一回はお湯に浸かりながらの外出に出かけます。

地域みんなでもり上げる

敬老会は二百人からの参加者



生き生き100歳講座でフラダンス

になります。地域のボランティアの方や小学生、保育園児が演芸や踊りを披露します。地域で栽培した手打ちそばやお母さんたちの手作りデザートなどで楽しみます。

生き生きサロンも世代間交流で子供達や老人クラブを中心に、軽スポーツや趣味を通して皆で触れ合っています。

サロンでみんな生き生き

砂越・砂越緑町地区社会福祉協議会

会長 東海林 正

砂越・砂越緑町地区社会福祉協議会の特色のひとつに、高齢者を中心にしたサロン活動があります。砂越に二か所、砂越緑町に一か所あり、「集まることで支えあう」をねらいに発足し、十数年になります。

運営は会員におまかせ

「砂越ふれあいサロン」は軽体操を中心に週二、三回開催、平均三〇人位参加します。決して無理せず、夏休みと冬休みがあります。砂越駅前ふれあいサロンは地区民全員で年何回かは老いも若きも集い、いも煮会などで楽しんでいます。「サロン緑町」は月に一度、老人クラブと共同で健康講座などを開いたりしています。

みんなで共生できるように

砂越・砂越緑町コミュニティ

学区・地区社会福祉協議会とは

高齢者も子どもをもつ親、障がいのある人も、みんなが不安のない暮らしをするため、見守り、声かけ、緊急時の連絡など住民同士が支えあう活動です。

センターの正面玄関で出迎えてくれるのがパンを粘土代わりにした花、「パン・フラワー」です。若妻会の得意技ですが、いま飾っているのは駅前にある社会福祉法人親和会の就労継続支援事業所「あゆみ」の皆さんの作品です。センターで、当地区のボランティアを先生にしてつくったものです。

開設にあたっては、決して順風なものではなかったものの、三〇名あまりの入所者共々、地域のみんなも、ゆつくりした「あゆみ」と、交流が期待されます。



わねぽろんぷりゃ

地域でボランティアをしている団体を紹介します

健やかに安心して暮らせる地域を作ろう

庄内医療連携の会

世話人 池田周史

「健やかに安心して暮らせる地域を作ろう」を合言葉に、平成十八年に有志が集まり組織されました。

連携と地域完結をめざし

庄内地域の医療や福祉の連携に関わる医師、看護師、医療ソーシャルワーカー、事務職員、ケアマネジャーなどの意見交換と情報共有の場作りに努め、また地域全体で治療・診療をしていく「地域完結型の医療連携」を常に考え、患者様が身近な地域で病状にあった適切な治療を効率よく、そして暮らしやすい医療・福祉環境をつくるために活動をしています。

病院を知ることから

今年度は山形県の「地域医療再生計画推進事業」の指定を受け『病院を知ろう』というテ



マで、一般県民向け公開講座を酒田市と鶴岡市で二回ずつ開催します。住んでいる地域の医療について健康なうちから知っておくことは大切な事です。病院の役割や現状について医師や専門家がわかりやすくお話しします。すのでは是非ご参加ください。十一月後半に二回目の「病院を知ろう」公開講座を予定しています。くわしくはお問い合わせください。

連絡先

庄内医療連携の会事務局（鶴岡協立病院 地域医療連携室内）

電話 0235-23-6115

ファックス 0235-29-1737

caramel@turuoka-kyoritu-hp.or.jp

ちようかい子育て応援団 おてつなごう

代表 茂木敏弥

熱い思いがひとつに

平成二〇年秋、南遊佐、上田、本楯の民生・児童委員の定例会で「子どもの遊ぶ姿が見えない。子どもが集まってふれあい、大人が温かく見守る地域をつくりたい」と提案がありました。みんなが賛成し、関係する方々に声をかけ、何回も集まり、相談。こうして、鳥海学区に「子育て応援団」が誕生したのです。

親もスタッフも楽しむ！

年六回、親子で体操や絵本の読み聞かせ、たなばたやクリスマスなど季節の行事を楽しみます。さまざまな遊具で、思い切りからだを動かしたり、身近にあるものでおもちゃを手づくりしたりもします。豆をひき、コーヒーをいれ、のんびり過ぐすりラックスタイムもパママ達に好評です。子どもとおして、親同士の交流が広がり、子育ての不安を少しでも解消する場になればと願っています。

世代間交流もさかんに

地元の人たちが人形劇を見せてくれたりも。みんながアイ



▲お父さんも楽しく遊びます

アを持ち寄って、自分のできることをする、子どもたちのためになることには、アンテナを高くし「これだ」と思ったら、即取り入れよう！が合言葉です。そして、地域が、ひとつの大きな家族になるようこれからがんばります。

平成22年度 酒田市社会福祉協議会 決算

本会の事業実施にあたりましては、市民、行政機関、自治会、民生委員・児童委員、法人、福祉団体、ボランティアの方々など多くの皆さまから多大なご協力をいただきました。

厚くお礼申しあげます。

平成22年度事業活動収支計算書内訳

単位：円

事業名	事業収入	事業収入内訳	事業支出	事業支出内訳	収支差額
法人運営	104,680,285	会費16,492,500 寄付金135,000 県補助金3,655,200 市補助金 83,956,533 雑収入282,513 国庫 補助金取崩額111,153 受取利息 配当金収入21,376 経理区分間繰 入金収入26,010	108,579,501	社会福祉協議会全体の管理運営 経費 人件費68,371,927 事務費 9,542,556 事業費2,331,701 助成 金2,007,578 負担金1,596,100 減 価償却費4,044,945 ※1.経理区分 間繰入金支出20,684,694	△ 3,899,216
施設管理運営事業 (地域福祉センター、 やまゆり荘)	8,125,139	経理区分間繰入金収入6,930,272 施設利用料1,194,867	8,125,139	地域福祉センター、老人福祉セ ンター「やまゆり荘」の管理運 営経費8,125,139	0
地域福祉推進事業 (新・草の根事業、 平和記念のつどい)	17,381,000	経理区分間繰入金収入15,791,000 市受託金1,590,000	17,381,000	学区・地区社協で実施する新・ 草の根事業推進経費17,210,000 平和記念のつどい171,000	0
福祉バス管理運営事業 (酒田市福祉バス、 日赤福祉バス、 福祉バスやまゆり号)	7,656,520	市受託金6,182,469 経理区分間繰入金収入1,474,051	7,656,520	福祉バス 3 台分の運行経費 7,656,520	0
貸付事業	549,142	雑収入	0		549,142
共同募金配分金事業	13,178,494	一般募金7,675,113 前年歳末繰越 335,426 歳末募金5,167,955	13,178,494	福祉施設・団体等の活動支援 7,032,539 低所得世帯への歳末支 援5,167,955 ※2.経理区分間繰入 金支出978,000	0
社会福祉基金事業	6,198,949	寄付金455,790 社会福祉基金取 崩額4,320,505 受取利息配当金収 入1,419,138 雑収入3,516	6,222,728	社会福祉基金組入額455,790 ※3.経理区分間繰入金支出 5,766,938	△ 23,779
福祉サービス利用援助 事業	4,231,500	県受託金3,177,000 利用者負担金1,054,500	4,231,500	認知症などで判断能力が十分で ない人の金銭管理などの経費 4,231,500	0
安心生活創造事業	8,500,000	市受託金8,500,000	8,500,000	国のモデル事業。高齢者世帯へ の訪問によるニーズ把握等の経 費8,500,000	0
生きがい活動支援通所 事業（ミニデイサービ ス）	3,744,728	経理区分間繰入金収入3,199,928 利用者負担金544,800	1,456,598	やまゆり荘でのミニデイサービ ス経費1,456,598	2,288,130
地域包括支援センター 事業	26,392,008	市受託金18,233,720 介護保険収 入8,126,400、雑収入31,888	19,678,947	地域包括支援センター運営・活 動経費 人件費15,450,639 事務費3,397,442 事業費409,226 減価償却費421,640	6,713,061
介護保険事業（居宅介 護支援、訪問介護、デ イいずみ、デイ松山）	234,151,363	市受託金2,062,200 介護保険収入 208,543,730 自立支援費等収入 19,908,130 利用料579,150 国庫 補助金等取崩し2,500,763 経理 区分間繰入金収入8,371 雑収入 549,019	197,453,841	ケアプラン作成、ヘルパー派遣、 デイサービス等の経費 人件費 159,733,888 事務費8,085,612 事業費21,987,075 減価償却費 7,580,256 負担金67,000	36,697,522
合 計（一般会計）	434,789,128		392,464,268		42,324,860

(注) ※1～※3 経理区分間繰入金支出の充当先内訳

◎※1 の分⇒施設管理運営事業、地域福祉推進事業、福祉バス管理運営事業、介護保険事業

◎※2 の分⇒地域福祉推進事業

◎※3 の分⇒生きがい活動支援通所事業、地域福祉推進事業、法人運営

◆ご存じですか。生活福祉資金貸付制度

この制度は、所得の低いご家庭、障がいのある方の世帯、高齢者世帯などが対象です。資金の貸付と必要な相談援助を行うことで、家庭の経済的自立と生活意欲の助長促進、安定した生活を送れるようにすることが目的です。

- 技能を習得するための資金
- 就学に必要な資金
- 求職中の方向けの資金

など**目的に応じた資金**を貸付します。該当要件がありますので、詳しくは下記までお問合せください。

酒田市社会福祉協議会 ☎0234-23-5765
 八幡支部 ☎0234-64-3765
 松山支部 ☎0234-62-2843
 平田支部 ☎0234-52-2260

◆ひとり親家庭のみなさまへ

大学生のお兄さんお姉さんと楽しくすごそう！

- 日 時** 毎週土曜日 10時～14時頃
- 場 所** NPO法人にこっと(酒田市二番町7-8)
- 対 象** ひとり親家庭の親子
- 参加費** 無料
- 申込み・問合せ** NPO法人にこっと
電話 0234-23-6330

◆散歩しませんか。車いすをお貸しします

高齢の方や身体に障がいのある方の介護のための車いすを、およそ2週間を限度にお貸しします。酒田市社会福祉協議会にお申込みください。無料です。電話 0234-23-5765

◆心配ごと相談所

10月4日(火) 18日(火) (毎月第1・3火曜日)

時 間 いずれも 9:30～15:00

場 所 酒田市社会福祉協議会

酒田市新橋2-1-19 電話 0234-23-5765

相談は人権擁護委員が対応し、日常のどんな相談にも応じます。ひとりで悩まずご相談ください。予約不要です。

無料、秘密は守られます。

◆酒田市発達支援室

情緒的、精神的、知的な面で不安や悩みがあったり、生活や学習面などで難しさや差しさわりがあるなどの方に対し、一人ひとりの状況に応じた適切な支援を行うために、福祉課に発達支援室があります。

こんな心配はありませんか？

- 幼稚園や保育園で・・・ことばの遅れや、かんしゃくがある。落ち着きがない、など
- 学校で・・・集団生活や友達づきあいが苦手、いつもと違うことに戸惑うなど
- 社会に出てから・・・生活や就労などで困っているなど

◇相談方法：電話、面接など

◇相談日：月～金（祝日を除く）

◇相談員：臨床心理士、精神保健福祉士

◇場 所：酒田市役所 1階福祉課⑬番窓口

◇電 話：0234-26-6258

◇ファクス：0234-23-2258

◆ボランティアまつり

- 日 時** 11月3日（文化の日）
- 場 所** ひらたタウンセンター
- 内 容** 被災地支援のためのローソクづくり
ボランティアサークル活動発表
防災物品展示・救急講習ほか

お願い！ローソクをお寄せください。

社会福祉協議会平田支部へ 0234-52-2260

◆認知症の講演会

- 日 時** 10月12日(水) 14時～16時
- 場 所** 東北公益文科大学 公益ホール
- 内 容** 講演「認知症でも大丈夫！絆をつくる地域づくり」

聖マリアンナ医科大学特別顧問 長谷川和夫氏

- 問合せ** 山形県介護学習センター

電話 023-627-7431

参加無料、どなたでも参加できます。

会報“ふれあい”の編集委員の皆さんです

委員 長 片桐 晃子	委 員 伊藤 和子
副委員長 伊藤 秀夫	委 員 荘司 東一
委 員 八木 安廣	委 員 三浦 正昭
委 員 江口 暢子	